

青い空に浮かぶ白い雲⁹

—「東大和市の学校教育」—

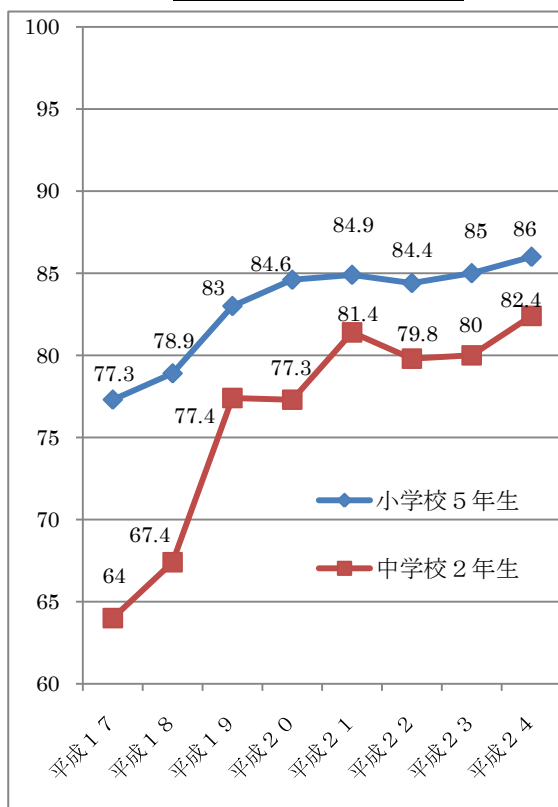
東大和市教育委員会 教育長 真如昌美



(今日の言葉) 「武士は食わねど高楊枝」は・・・

1 子供を育てるには、保護者と学校と地域の協働

☆朝食を必ず食べている児童生徒の割合



左のグラフは、私が指導室長だった時(平成17年～平成20年)から現在まで、児童生徒が毎日朝食を取ってくると答えた割合を示すグラフです。

ご覧になってお分かりのように、8年間の間に毎日朝食を取ってくる児童生徒の割合が、小学校、中学校ともに大幅に増加しました。

この数値に「だいたい食べてくる」の数値を加えると平成24年度は、小学校では96%、中学校では93%となり、国や都の平均と比較しても遜色のない数値となります。これは学校の食育の推進と保護者のご理解・ご協力の結果であると受け止めています。

なお、「毎朝必ず食べている」の東京都と全国の平均は次の通りです。

平成24年度東京都平均

小学校5年生 88.7%、中学校2年生 84.3%

平成24年度全国平均

小学校6年生 96.1%、中学校3年生 93.6%

言うまでもなく、朝食を食べずに登校し、学校で同じ生活メニューをこなそうとすると、食べずに来た子ども達には大きなハンデが生じます。脳の働きも体の動きも事に向かおうとする気力が湧いてきません。

子供たちの朝食についてよろしく願います。

その楽しさを知る

「モノレール上北台駅乗降組」の私は、市役所まで自転車を使っています。私の自転車はもうかなり古いので、ペダルを漕ぐと軋む音がします。その上、良かれと思いつけたグリスが、粘着性であつたらしく、更にペダルが重くなりプロ仕様(?)の『エアロバイク』状態でした。そこで私は、グリスを落とすべく食器洗いの洗剤をかけたり、自転車油をさしたり、再度別のグリスを塗ったりと思いつくありとあらゆる浅知恵をはたらかせてみましたが、ちっとも軽くはなりませんでした。

先日、四小に行った帰り道、自転車屋さんがあったので、そこのお兄さんに診断をしてもらったところ、さすがにプロ、なんと、なんと、我が『エアロバイク』に羽が生えたように軽快に走り始めたではありませんか。

ペダルを漕ぐことがこんなにも楽しいのか、自転車の楽しさを知った私は、あふれる好奇心から、「上北台駅⇒市役所間ひとこぎ到着」に挑み、先日の朝、見事それを成し遂げたのであります。

「楽しさ」を実感することで、次への好奇心や挑戦意欲が引き出されます。きっと子供の「学習」も同じだと思います。環境を整え、先生(プロ)の診断と指導で基礎基本をしっかりと身につけた時、初めて学ぶ楽しさに触れることができるのです。それにしてもプロはすごい。

少しまとめが強引過ぎましたか?